

(別紙1)

## 事業報告書

事業名	ラオス教育環境支援事業
申請分野	団体指定寄附・ <u>分野指定寄附</u> (子供分野)
目的	<p>※事業がどのように対象者・利用者の利便性の向上や支援につながったかなど、事業の目的を記載してください。</p> <p>○ラオスの貧しい村の子供たちの教育環境整備。</p> <p>○ラオスは、1965年から約10年間、内戦によりラオス北部を中心に多くの不発弾が今も地中に埋まっている。このため開発が非常に困難であり、発展しようにも発展できない貧困な村が多くある。そうした村の子供たちが通う小学校は、ラオス政府の支援も得られないため、村人の手で校舎を建設しているが、雨が多いために木造校舎は20年位で朽ちてしまう。</p> <p>○最貧国からの脱出には、こうした貧しい村の子供たちの教育環境を整え、新しい国づくりに役立つ人材を育成することが肝要である。</p> <p>○日本も明治期以降、教育に力を入れ、幾多の有為な人材を育成できたことが、現在の豊かな日本に繋がっていることから、KVCとして、「人づくりは国づくり」をモットーに、途上国ラオスの発展の為に教育環境の整備を行うことが、大きな役割と考えている。</p> <p>○学校建設費資金として、一般県民を対象に広く募金活動を行うことにより、香川にいながら国際協力やSDGsに参画できる機会の提供を行い、県民のSDGs等への参画意識を啓蒙する。</p>
事業実施の地域及び対象者	<p>※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。</p> <p>○ラオス・シェンクワン県ブークー郡ロンハン村ホアイホーム小学校(児童数138名)</p> <p>○ラオス北部のシェンクワン県とルアンパバーン県の県境にあり周囲が山に囲まれた不発弾が埋まる村。村人は畑作、林業を生業とし、県都までの道は舗装されていない山道で、山崩れが至る所にある。(村民:約600人)</p> <p>○一般県民対象に募金活動を行い、135個人・企業、学校からの募金があった。</p>

<p>具 体 的 な 事 業 内 容</p>	<p>※実施した事業内容について、具体的に記載してください。</p> <p>○元校舎は平屋木造造り 2 棟(3 部屋、2 部屋)で、窓がほとんどなく日中でも室内は暗く、建物は粗末で老朽化(築 18 年)し、教育環境が劣悪。当然、電気水道はない。</p> <p>○この小学校については、2019 年 8 月に KVC が香川の高校生たちと共に訪問し、緊急性、必要性が高いものと認定し、支援を決定した。</p> <p>○教育環境を改善するために、教室 5 室と職員室の平屋建てコンクリートブロック造りの校舎 1 棟及びトイレの建設と、机、イス、ホワイトボード、本棚の備品を整備。各教室には蛍光灯設置した。</p> <p>○KVC の支援方法は、要望があったものを全て支援するのではなく、現地のできることはやって貰う、自助努力を求めることを原則としており、今回も校舎の建設は現地の建設会社に任せたが、現校舎の撤去や、高さ 3mの斜面を切り崩し敷地の造成を村人の手でやって貰い、自助努力の協力を求めた。</p> <p>○募金活動は、KVC会員が身近な所から幅広く募金の呼びかけを行うとともに、かがわ国際フェスタ等、イベントを活用して募金を呼び掛けた。</p>
<p>事 業 実 施 の 効 果</p>	<p>※事業の実施がどのように今後の法人活動の活性化や基盤強化につながるのかを具体的に記載してください。</p> <p>○ラオスの貧しい村の子供達の教育環境向上による「人づくり」を通じて、途上国の「国づくり」に役立つことは、KVC の事業目的であり、また SDGsが目指すところであり、それらが実現できることは大きな成果である。</p> <p>○地方の小規模な NPO 法人でも、世界に貢献できるという実証であり、途上国の人々の心と繋がるということは、何事にも替え難い。</p> <p>○募金を通じて、香川にいながら国際協力やSDGsに参画できることの啓発が行えた。</p>
<p>備 考</p>	<p>※その他、特にPRしたいこと等があれば記載してください。</p>

(注)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

### 事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加者数
2022年 6月	募金活動開始（～2023年3月）		
8月13日	工事契約締結		
8月17日	工事の現地調整（KVC 現地コーディネーターが実施）		
9月1日	工事着工		
9月初旬	村人による敷地整備作業	村人	現地村人 延 100人
11月4日	中間工事検査（KVC 現地コーディネーターが実施）		
2023年 2月20日	竣工確認（三谷理事長他が現地訪問し実施）		
2月20日	竣工式（三谷理事長他 KVC 会員、地元の県教育長ほか教育関係者、村人、生徒参加）	KVC 会員 現地関係者、生徒	KVC6名、現地関係者80名、生徒100名
3月15日	募金活動終了	県民、企業、学校	募金者 135人・社・校
12月	KVC 会員及び香川の高校生を現地に派遣し、校舎の活用状況及び小学生との交流など、フォローアップを実施予定  (以後、毎年、現地訪問し、事業のフォローアップを行い、建設だけでなく、小学生や村人との交流を継続することにより、ハード面、ソフト面での交流を継続していく方針)		

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

## 収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金額	説 明
NPO基金補助金額	★1,200,000	
自己資金計	8,094,745	①+②+③+④
①参加料収入		
②会費等		
③寄附金等	7,445,667	
④その他	649,078	積立金
その他助成金等収入計	1,800,000	①+②+③
① 補助金収入	1,800,000	香川県NPO基金補助金 (団体指定)
②委託金収入		
③その他		
その他資金収入		
合 計	11,094,745	

(注) その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
消耗品費	2,554		郵送用封筒購入
印刷製本費	6,200		学校建設募金チラシ作成 2千部
通信運搬費	26,600		学校建設募金チラシ郵送料
助成金	10,829,741	1,200,000	学校建設費 第1回支払 3,580,528円 第2回支払 3,766,263円 第3回支払 3,422,243円
支払手数料	24,000		海外送金手数料@8,000×3回
謝金	205,650		学校建設工事監理謝金 1,500\$×137.1円
合 計	11,094,745	★1,200,000	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。

(